

山行報告書

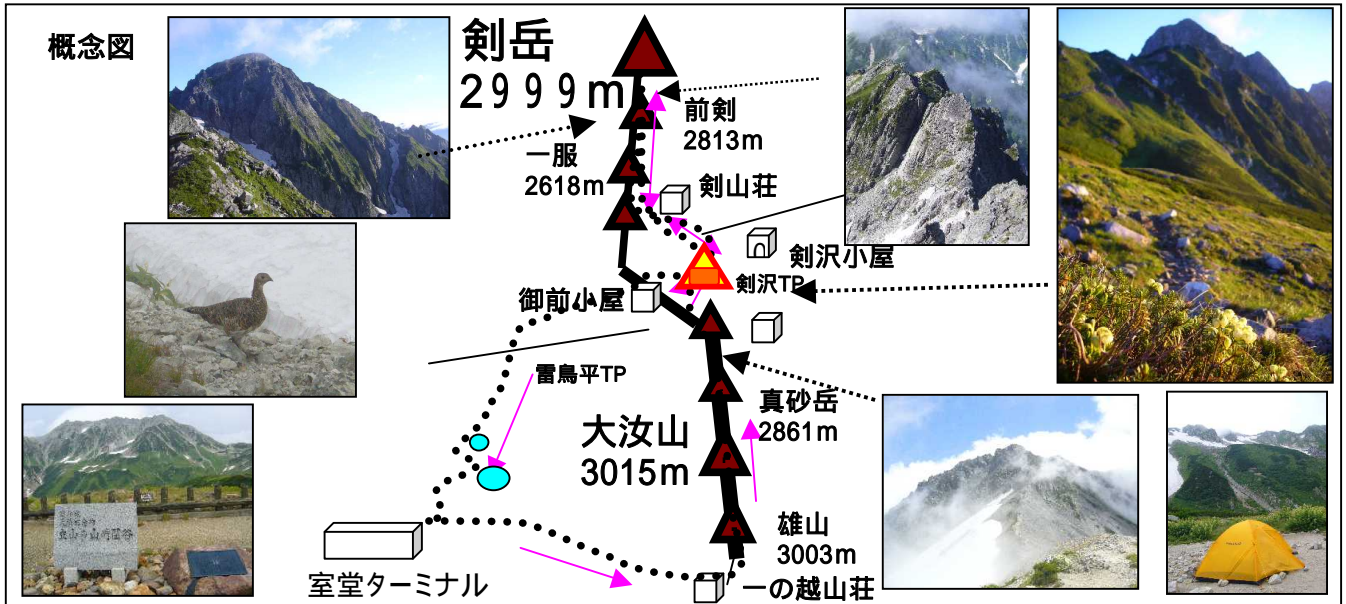
報告書作成

野島

山名 [山域]	立山&劔岳	目的と方法	テント泊&百名山&展望
登山期間	2008/8/18-19	山行形態	テント1泊周回
参加人数	3名		

行動記録

8月17日 豊田IC 6:30 = 川島PA 7:30 = 荘川IC = 白川郷IC = 富山IC = 立山駅P11:00
 8月18日 立山駅6:00 = 室堂7:30,8:00 - 一の越8:51 - 雄山10:00 - 大汝山10:44 - 真砂岳12:00 - 別山乗越え
 13:00 - 劔沢分岐13:40 - 劔沢テント場14:00
 8月19日 テント4:50 - 劔山荘5:30 - 一服劔6:00 - 前劔6:42 - タテバイ8:00 - 山頂8:30、9:00 - よこばい19:20 -
 劔山荘11:20,11:50 - 劔沢テント12:20、食事、回収13:30 - 御前小屋14:20 ~ 14:55 - 雷鳥坂テント場
 15:30 - 室堂ターミナル16:30 17:30 = 立山駅18:30 = 温泉、食事 = 富山IC21:00 = 荘川22:40 = 川島



日誌

快晴、酷暑の続く盆休み。さすが週末はついに太平洋高気圧が勢力を弱め、前線が南下して天候が崩れ気味。都合を調整すると やはり土日が良いので、天候は 曇りだが計画通り出発した。劔岳、百名山50、51山目のメモリアル登山でもある。荘川すぎて満点の夜空に期待が高まるが、富山では雲がでてました。 やっぱり 雨かな？。

- *8:00 曇天の室堂バスターミナルを出発。立山の石碑でまず、おにぎりを食べて、いきなり2400mだから、最初はゆっくり、気圧に慣れよう。中高年のツアー登山の説明が聞こえる。“劔はハンパな山ではないので、今日の立山で、いける人、いけない人を選ばせていただく”とのこと。え、このオバサン、オジ(イ)サン達も劔いくの？ハンパな山では無いというガイドの説明でビビりつつも、そのツアー登山客をみると、これで我々がいけないわけが無いという妙な自信もてくる。どうなることやら、花畑を散策。元気なオバサンたちにくらべ、花は、雨が少ないせいか、やややつれ気味。チングルマの大群落だが、すこし盛りを過ぎた感じ。そういっているとボツリボツリと雨が。暑く無いだけましか。と 雨具を装着して、一の越へ向かう。途中雪渓を横断する。
- *10:00 雄山。団体客多し。先ほどの団体も、体力的には問題ないみたいですね。雄山をすぎると、ぐっと静かになる。大汝山で 大休止。あいかわらずガスのなかだが。
- *12:00 大汝をすぎて真砂岳の稜線で、クー、クーとかわいい声が。雷鳥のヒヨコが三匹。そのあとを母親雷鳥が。かわいいですね。今日は天気わるいけど いいいかと満足することにする。と 突然、雲が晴れて、真砂岳の稜線が浮かび上がる。よかった。稜線の花(ヨツバシオガマとか)を楽しみながら 劔沢につく。2時について テント設営して、昼ねして、5時に夕食とする。劔はずっと雲の中。向かいの岩でボルダリングの練習をしている。なかなかレベルが高い人たちだった。19時過ぎには寝ちゃいました。静かな夜でした。明け方は10 くらいまでさがったかな。
- *3:00 どうやら、雲はとんだようだ。満点の星空。先週ほどではないが流れ星も見えました。みなさ3時過ぎには ヘッドライト装着して出て行きました。今回、初めてだし、この暗さではいけないかと 4時に起きて、しっかり食事して5時前に出発。劔岳山荘手前で ご来光。朝日を浴びる劔岳。美しいです。前劔から、渋滞です。群馬の山岳ツアーのようです。オジサン、たちと話をしながら ゆっくり登りました。和気あいあいとすすみます。ちょっと退屈でしたけど。タテバイは 意外とあっさり登れました。足のステップの間隔がひろいので、最後一箇所だけ鎖の腕力であがるどころあったけど、基本は三点確保で登れますね。しっかりと鎖をつかんで。
- *8:30 山頂 日本海、後立山、富山の町並み、薬師、笠、そして 富士山まで見えちゃいました。快晴です。ただ 山頂下山あたりから どんどん雲が登ってきましたが。
- *11:20 劔山荘。綺麗な山小屋。綺麗なトイレ。旅館のようでした。
- *12:30-13:30 劔沢テント 食事とテント回収。のんびりしてたら、どうも最後になっちゃいました。